

どいね! この水飲めるんけ?

1.背景

令和6年1月1日、能登半島地震が発生し、甚大な被害をもたらした。その中には、断水による水不足も含まれ、がれきなどによる道路の通行止めが復旧作業を妨げ、給水車による支援や水関連インフラの復旧に遅れが生じる地域も見られた。

2.目的

災害発生時、水道などの水インフラ復旧までの期間を乗り越えるため、被災地において実施可能な水の安全確保策（または、飲料水確保策）を確立する。

3.提案概要

AIを用いた画像分類により、水の安全性を評価するシステムを開発する。

本検証では、水の透視度に着目する。

※画像分類の手順



覚えて!

はい



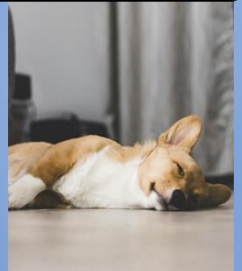
グループ1



グループ2



これは?



グループ1

こっち!

4.展望

本検証の結果によっては、透視度以外の水質指標にも応用できる可能性がある。応用が可能になれば、様々な状況下における水の安全性を判断できるようになる。